

平成30年度 消防団事務局の「実行宣言」

作成者 (評価者)	局長	三木 淳
--------------	----	------

基本方針と使命
<p>松阪市消防団は、地域防災力の要であり、自主防災組織との適切な役割分担と連携協力の下、大規模災害時への対応、火災、台風、局所的豪雨等への対応など地域住民の生命、身体、財産を守る消防機関として大きな役割を担っています。今年度も消防団の充実強化をさらに図るため、</p> <p>① 消防団員の確保と災害対応能力の向上 ② 消防団車両及び機械器具等装備の整備 ③ 消防団施設及び耐震性貯水槽の整備 ④ 広域消防及び自主防災組織との連携強化 に取り組んでいきます。</p>

『松阪市総合計画』 との関わり	5 安全・安心な生活（防犯・防災）
--------------------	-------------------

平成29年度の評価					
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）					
宣言①	消防団組織の適正運営をめざします。			評価	A
消防団事務局は、消防団活動のより一層の充実を図るため、消防団との連携協力を強化し火災、台風等の災害対応、安全管理を目的とした訓練、研修等で連携を図ることができました。 また、局内のミーティングを効果的に行ったことで業務を円滑に進めることができました。					
部局マネジメント方針					
ワンミニ・ミーティングを実施し、共通の認識で業務に取り組めます。			評価	A	
週初めは、週の業務予定を発表し合い情報共有・業務量のバランス調整を行い、さらに定期的に振興局の消防団担当者との意見交換を持ちます。			評価	B	
訓練研修等については、職員にフィードバックさせ課題等を検討し改善を図っていきます。			評価	A	
定期的に図上訓練を実施し、局内の災害対応能力を高めています。			評価	A	
市民からの要望等に対しては、市民に寄り添った形で対応します。			評価	B	
『松阪市総合計画』関係施策の進捗度					
	施策名	5-⑤ 消防団の充実	目標（H31）	評価	
①	活動指標	耐震性貯水槽の設置数	157基	A	
	活動指標	消防団協力事業所の認定数	31事業所	A	



平成30年度 消防団事務局の「実行宣言」	
宣言①	消防団の災害対応能力の向上を図ります。
部局マネジメント方針	
毎朝ミーティングを実施し、情報共有を図り業務の効率化をめざします。	
市ホームページ等を活用し、消防団の取組を積極的に発信します。	
局内の災害対応能力の向上をめざし、訓練等を実施します。	
市民ニーズに応えられるよう丁寧な対応をめざします。	

【課長シート】

組織名	消防団事務局		作成者（評価者）	局長 三木 淳
関係する 「実行宣言」	平成29年度	消防団組織の適正運営をめざします		
	平成30年度	消防団の災害対応能力の向上を図ります。		
関係する『総合計画』施策	5-⑤ 消防団の充実			
課の基本方針と使命				
<p>消防団事務局は、消防団運営を円滑に進める部局として消防団が活動しやすい環境づくりに努め、消防団活動のより一層の充実を図ることで魅力ある消防団づくりにつなげます。</p> <p>平成19年度から取り組んでいる「消防団協力事業所表示制度」を推進し、被雇用者が入団しやすく活動しやすい環境整備を整え、団員確保に努めます。</p> <p>同時に、消防団員個々の災害対応能力向上を図るため、実践的な訓練や「災害対応マニュアル等」を活用した教育訓練の拡充を計画的に行い、さらに広域消防・自主防災組織等と連携を密にし、地域の総合防災力の要として充実強化させます。</p>				

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）	
【達成できたこと】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員定数1,420名に対し、実員1,406名（99%）となり「消防団応援の店」や「消防団協力事業所表示制度」を活用したことから団員確保につながりました。 ・ 安全装備品を充実強化させるため、消防団車両1台に「防火衣一式4着」を配備、また新活動服140着（32%）を貸与したことにより、災害活動時の安全確保につながられた結果、公務災害発生は「0」件でした。 ・ 安全管理教育の拡充として、危険予知訓練等の災害活動マニュアル（200部）を作成し、各分団へ教材として配布、訓練等での活用ができました。さらに消防団の新機関員（100名）を対象に自動車学校での安全運転研修を実施し、交通事故防止に対する意識の高揚を図ることができました。 ・ 消防・防災訓練センターを消防団訓練や研修など方面団各分団で定期的に利用し、消防団員個々の能力向上を図ることができました。（年間35回実施） ・ 大規模地震発生時の消火・生活用水用の確保に耐震性貯水槽（40 t）4基を設置し、総設置数は149基となりました。 ・ 老朽化した消防団車庫2棟を建替えをしたことで防災拠点の強化を図ることができました。また、消防団小型動力ポンプ付積載車等4台の車両更新を行い、災害現場での消防力の強化につなげました。 	
【達成できなかったこと】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員の約1割の自営業者130名を対象とした消防団員健康診断受診率の割合が、114名（88%）にとどまりました。（募集期間を待たずに医療機関で受診した又は当日キャンセルによる） 	

消防団事務局 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	松阪地区広域消防組合分担金	一般	5-⑤	1,993,264	/	救急出動における平均現場到着時間			→ 現状維持	2,070,525	/	救急出動における平均現場到着時間			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						8分以内	8分22秒	A				8分以内			
2	消防団員消防・水防手当	一般	5-⑤	52,801	/	消防団員訓練等出動に伴う参加人数			→ 現状維持	56,433	/	消防団員訓練等出動に伴う参加人数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	92%	A				100%			
3	消防団員報酬	一般	5-⑤	44,869	/	消防団員数			→ 現状維持	44,899	/	消防団員数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1,420名	1,406名	A				1,420名			
4	消防団員退職報償金等	一般	5-⑤	31,441	/	消防団員退職報償金該当者の支払			→ 現状維持	30,335	/	消防団員退職報償金該当者の支払			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	A				100%			
5	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金	一般	5-⑤	30,536	/	共済基金掛金率			→ 現状維持	30,536	/	共済基金掛金率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	A				100%			
6	消防団員等福祉共済加入掛金	一般	5-⑤	4,260	/	福祉共済加入率			→ 現状維持	4,260	/	福祉共済加入率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	A				100%			
7	小型動力ポンプ付積載車等購入事業費	一般	5-⑤	26,300	/	実施計画に基づく車両更新台数			→ 現状維持	22,800	/	実施計画に基づく車両更新台数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						4台	4台	A				3台			
8	消防団防災資機材等整備事業費	一般	5-⑤	7,434	/	年次計画に基づく活動服導入数			→ 現状維持	7,273	/	年次計画に基づく活動服導入数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						32%	32%	A				49%			
9	消防団員公務災害補償費	一般	5-⑤	1,822	/	公務災害補償費加入率			→ 現状維持	1,815	/	公務災害補償費支払率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	A				100%			

消防団事務局 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
10	消防団員健康診断事業費	一般	5-⑤	421	/	自営業の消防団員定期健康診断受診率			→ 現状維持	421	/	自営業の消防団員定期健康診断受診率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	88%	B				100%			
11	非常備消防一般経費	一般	5-⑤	16,905	/	研修会等の参加人員			→ 現状維持	17,609	/	研修会等の参加人員			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	90%	A				100%			
12	水道事業会計繰出金	一般	5-⑤	15,306	/	新規公設消火栓設置・維持管理率			→ 現状維持	14,933	/	新規公設消火栓設置・維持管理率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	A				100%			
13	消防施設管理事業費	一般	5-⑤	6,267	/	消火栓点検維持管理率			→ 現状維持	6,137	/	消火栓点検維持管理率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	A				100%			
14	消防防災施設整備事業費	一般	5-⑤	52,000	/	耐震性貯水槽設置総数			→ 現状維持	52,000	/	耐震性貯水槽設置総数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						149基	149基	A				153基			
15	消防・防災訓練センター管理運営事業費	一般	5-⑤	256	/	訓練センター施設使用満足度			→ 現状維持	249	/	訓練センター施設使用満足度			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	93%	A				100%			
16	消防救急デジタル無線（共通波）整備事業負担金	一般	5-⑤	21,709	/	無線共通波整備にかかる通信エリアカバー率			→ 現状維持	21,709	/	無線共通波整備にかかる通信エリアカバー率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	95%	A				100%			

消防団事務局 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
(1)	「消防団協力事業所表示制度」の推進取組		5-⑤	/	/	消防団協力事業所の認定数		→ 現状維持	/	/	消防団協力事業所の認定数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						27事業所	27事業所				A	29事業所			
(2)	「消防団入団促進活動」の推進		5-⑤	/	/	消防団員数		→ 現状維持	/	/	消防団員数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1420名	1,406名				A	1420名			
(3)	「消防団分団再編」のあり方検討		5-⑤	/	/	消防団分団再編数		/	/	/	消防団分団再編数		… 定期		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
												1分団			